

令和3年度幼稚園教育保護者アンケート結果について

1月に実施しました幼稚園教育アンケートの結果を報告させていただきます。

たくさんの方から肯定的なご意見や評価をいただいた一方で、改善すべき点について貴重なご意見やご指摘、ご要望もいただきました。いただいたご意見を参考にして、「楽しい幼稚園」をめざして教職員一同努力を重ね、本園教育の充実・改善を図ってまいります。

以下の割合は「はい」・「だいたい当てはまる」の肯定的回答の割合です。

お子さんについて

- ◇ 幼稚園に行くのを楽しみにしている。 (95%)
- ◇ 自分でできることは自分でするようになった。 (95%)
- ◇ 友だちと仲良く遊んでいる。 (100%)
- ◇ のびのびとたくましく、考え、工夫して遊んでいる。 (100%)

【保護者から】

- ・ 上学年へのあこがれと下学年への慈愛のまなざしを併せ持つ言動が見られ、微笑ましく思います。
- ・ 挨拶や「ありがとう」「ごめんなさい」など言うべき時も含めてその必要性を教えていきたいと思えます。



【幼稚園より】

言葉によるコミュニケーションの力を育てるのも、幼稚園生活のねらいです。周りの大人が良い見本となれるようにしていきます。

教職員について

- ◇ 子どもをよく理解して指導にあたっている。 (100%)
- ◇ 子育てについて気軽に相談に応じている。 (100%)
- ◇ 子どもが好奇心をもち、工夫して遊ぶ保育となるように工夫している。 (100%)
- ◇ 遊びを通してルールを学んだり、我慢したりといった経験を積めるようにしている。 (100%)

- ◇ その場にふさわしい言葉遣いをして、全ての子どもに平等に接するように心がけている。(90%)

【保護者から】

- ・ アットホームな雰囲気は良いと思うが、園児に対して茶化した言動がみられることがある。わざとではないと思うので、子どもへの接し方について丁寧な口調や発言をお願いしたい。
- ・ 子ども自身に聞いてみると、「園長先生や副園長先生ともっと遊びたい」という言葉がありました。担任の先生のみならずいろんな先生とふれ合いたいようです。子どもにとって、先生方がもっと近い存在であってくれれば保護者としてもありがたいです。
- ・ 朝、靴箱で先生方が子どもたちを迎えてくださいますが、もう少し子どもに語りかけてほしいです。毎朝玄関に立って迎えてくださるのは感謝でいっぱいです。



【幼稚園より】

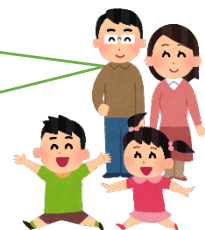
私たちの言動によって、子どもたちや保護者の方にご心配をかけることがないように、気をつけていきたいと考えました。その場にふさわしい言動となるように、おかしいと思ったことをどんどん言い合える関係作りをしていきたいと思います。園長・副園長はコロナ対応をするため、子どもたちとの距離を開けなくてはいけない部分もありますが、子どもたちからのかわいいお誘いにはできる限り答えていきたいと思っています。温かいご意見ありがとうございます。

保護者の方について

- ◇ 子育ては楽しい。(100%)
- ◇ 子育ての相談相手(協力者)がいる。(90%)
- ◇ 幼稚園と協力して子どもの成長を見守っている。(100%)

【保護者から】

- ・ 本来ならもっと子どもの成長を園や他の保護者と共に楽しみ、意見を交わす機会があると思うが、コロナで子どものみならず保護者も視野が狭くなっていると私自身悩みます。





【幼稚園より】

子育てに対して不安を感じている保護者の方が多くおられることがわかりました。行事が減り、保護者の方どうしの交流もしにくくなっている現状なので、子育て相談の場となれるような園にしていきたいと思います。

自由記述から

- ・ さりげない配慮が行き届いた環境で個を尊重してもらいながら子どもはのびのびと幸せな園生活を送っています。年齢に応じた社会性の獲得、季節の行事を大切にする心など、園生活で得られたものをあげるときがありません。
- ・ 発表会におけるスタンスが非常に好きです。ありがちな劇の発表ではなく、“子どもたちの希望を取り入れた上で子どもたちの好きなもの、普段の様子を保護者に見せる”というのは私にとって斬新でした。これこそが双方のニーズを満たしていて最高に楽しめる手法だなと得心しました。
- ・ 人数が少ないからこそその良さを引き出してくれた1年でした。イベントも限りある中で様々な工夫をしてくださったと感謝しています。「コロナで」と消極的なものに負けな
いい思い出を最後まで作ってあげたいと思っています。

【幼稚園より】

園の取組を、大変好意的に評価していただきありがとうございます。記述欄にも、園のことを応援して下さるご意見をたくさんいただき、とてもうれしく読ませていただきました。

コロナ禍のため制限されていることもまだまだたくさんありますが、子どもたちのために必要なことは何かをしっかりと考え、取り組んでいきます。情報発信の部分がまだ弱いと感じますので、HPの充実などこれからさらなる工夫をしていこうと思います。

